

不安と孤立を見捨てない石坂わたるの たつのご通信



http://ishizakawataru.net/

編集・発行：共生中野

2011.July

VOL.01

1面 創刊号ごあいさつ
たつのご通信創刊です

2面 議会で質問しました
初めての定例議会で
一般質問に立ちました
所属委員会でも質問



〒164-0014 中野区南台 2-51-7-305 TEL:03-6304-8758 E-mail:09wishizaka@mbr.nifty.com twitter @ishizakawataru
中野区議会：〒164-8501 東京都中野区中野 4-8-1 TEL:03-3228-8874 (無所属控室)

ごあいさつ

皆さんのお力で、4月に中野区議会に送り出していただくことができました。その期待にしっかりと応えていけるよう、みんなが共に生きる中野をめざし、全力で取り組んでいます。

6月に行われた臨時議会で所属委員会が子ども文教委員会と、地域支えあい推進特別委員会に決まりました。

第2回定例会では、放射線量の試測結果をインターネット上だけでなく、紙媒体などでも公開してほしいと要望しました。多くの方から「区民はインターネットやパソコン、携帯電話が使いこなせる人ばかりではない」という声をいただいていたためです。そして、試測結果の概要とより詳細な情報の入手方法について、7/20号の区報で掲載されました。

大人も子どもも、あらゆる人がこの町でずっと一緒に生きていきたいと思える地域を作るため、ぜひ今後も皆さんのご支援とご協力をお願いいたします。



ともに歩む 石坂わたるの活動報告

- 5/17 コープとうきょう中野コープ会ミーティングに参加
- 5/21 中野区役所での健康特盛 DAY を見学
- 5/22 ふれあい運動会来賓 (パン食い競争出場)
- 5/26・27 共同通信・CNN-Go から取材を受ける
- 5/29 中野ゼロにてザ・ニューズペーパー公演鑑賞、平和書道展鑑賞
- 6/2 久留米特別支援学校にて学校公開・授業参観
- 6/3 中野区伝統工芸展を見学
- 6/4・5 スマイル福祉まつり (実行委員)
- 6/5 消防団による軽可搬消火ポンプ操法大会(来賓)
- 6/11 キッズプラザ桃花開所式 (来賓)
- 6/16 コープとうきょう中野コープ会ミーティング
- 6/16 東京商工会議所中野支部・中野 21 の会と中野区議会議員 (新人及び2期) の意見交換会
- 6/26 防災士会総会
- 6/26 東京レインボープライドイベントにてトーク出演
- 6/28 生涯学習サポーターの会総会
- 7/3 東京精神保健福祉士協会「東日本大震災 災害支援者活動報告会」
- 7/4「特別区制度をめぐる課題」(特別区特別区協議会主催) 講演会に参加
- 7/5 NPO 法人グリーンサイエンス 21 が行う夏野菜の水耕栽培を見学
- 7/7 谷戸小学校耐震工事の説明会に参加
- 7/9 新山小学校の学校公開を参観
- 7/16 小田実没後 4 年シンポジウム (実行委員)

所属委員会

区議会では、専門的、能率的に審査するために委員会を設けています。すべての議員が必ずひとつ所属する常任委員会、特定の問題を審査する特別委員会などがあります。

常任委員会：子ども文教委員会

区立小中学校などの学校教育、保育園・区立幼稚園などの幼児教育、図書館、子育て支援・子どもの育成に関することなどを審査します。

特別委員会：

地域支えあい推進特別委員会

地域での見守りや支えあい活動の推進、支えあいポイント制度、地域活動支援制度等について審査します。

中野災害対策情報

●空間放射線量を試測

平成23年6月23日から7月1日に公園等 110カ所を測定。結果は中野区HP及び結果は7/20号の区報にて公開中。

●被災地へのボランティア募集

中野区社会福祉協議会では提携都市である宮城県東松山市への支援ボランティアを募集。往復のバス代は社協が負担。

●帰宅困難者の受け入れ

今後の災害時の交通機関停止等に備え、中野区では区内小中学校を災害避難場所に指定。区民以外の方も利用可。

中野でみんなをつなぎます！ 9月4日(日)に行います！

交流会

お聞かせください！お待ちしております！

第2回議会を前に、区政のご報告や皆様のお話を聞かせていただく交流会・意見交換会を9月4日(日)に開催します。場所・時間は現在調整中です。決まり次第、石坂わたるHPやブログ、Twitterなどでご報告します。お電話やメールでのお問い合わせも受け付けています。

控室情報

お気軽にどうぞ！

中野区議会内での石坂わたるの控室は、無所属議員控室となります。お電話での在室確認の上、お気軽にいらしてください！



第2回定例会(6月)一般質問 放射線量試測結果 すみやかに公表して

石坂 試測の結果、高い数値が測定された場合や原発事故の事態がより深刻化した場合は、躊躇なくすみやかに区内の放射線量の本測定、様々な媒体での公開を行ってほしい。

区長 試測の結果は分析の上、区民にわかりやすい形で公表する。多くの皆さまの目に触れるような広報を考えていく。

災害時における 要援護者への対応は？

石坂 東日本大震災において、「非常災害時救援希望者登録をしていないのに防災会から安否確認がなくて不安だった」という声があった。安否確認や訪問を行う基準は？

区長 従来、防災会ごとの判断で実施していた。今回の震災後、登録要援護者と地域防災会双方から安否確認基準について問い合わせがあり、区内が震度5強以上の場合および周辺の被害状況などから必要と思われる場合は安否確認を

実施すると周知した。

石坂 防災会が担う救援希望者登録と、町会・自治会の協力で整備する地域支えあいネットワークが存在し地域にとって負担。両制度をどのように調整していくか？

区長 救援希望者登録制度でカバーしている要援護者の数はまだ少ない。要援護者の実態把握に努めるとともに、町会・自治会と連携して、災害時にきめ細かく対応するよう取り組んでいきたい。地域防災会は町会・自治会を基盤として形勢され、支えあいネットワークを築いていく中で齟齬ないように取り組んでいく。

石坂 通常の避難所では対応が難しい高齢者、乳幼児、病弱者、障がい者は、二次避難所へと移ってもらうことになっているが、「二次避難場所がどこかわからない」という声が聞かれる。日頃から情報提供が必要なのでは？

区長 避難所生活の継続が難しい高齢者、障がい者等に対し、区施設や協定を結んだ民間施設などに二次避難所を開設することにしていく。専門的対応ができる二次避難所を定めているところ。周知にも努めていく。また乳幼児の処遇

等についても様々な事例を参考に検討していく。

社会的少数者の健康 と人権への配慮を

石坂 内閣府の子ども・若者ビジョンではすべての困難を抱える子ども・若者を支援するとされている。中野区においても様々な子どもが健やかに成長し、成人してから健康に生きる権利がある。

その上で、中野区では発達障がい児・者への生涯支援をどう考えるか？ 成人の発達障がい者から「どこに相談すればいいかわからない」「専門的な担当者がいない」と不安の声を耳にしている。進学・就労に対して十分な移行支援ができていないのでは？

健康福祉部長 現在乳幼児期から小学校への移行支援の仕組みはできていく。手帳の所持者については卒業後の相談機関の紹介や継続的な支援に努めている。今後は、小学校から中学校への連携、思春期における相談支援などについて検討していく。青年期以降も東京発達障害支援センターや健やか福祉センターなどと連携し、生涯にわたる継続的な支援の仕組みについて考えていきたい。

石坂 中野区では平成15年に「性同一性障害を抱える人が普通に暮らせる



る社会環境の整備を求める意見書」が満場一致で可決されており、この意見書では性同一性障害にとどまらず「セクシュアル・マイノリティを含む性教育の充実及び教育現場での理解」という項目が入っている。

厚生労働省の研究報告によれば15歳から64歳までの男性同性愛者・両性愛者の数は東京全体で推計13万32万人とされ、中野区にあてはめれば約6千4百〜1万人と推測される。男性同性愛者・両性愛者の15%が自殺未遂の経験があるという研究もあるが、中野区はセクシュアル・マイノリティを人権問題の施策が必要な層として認識しているか？ また、これまでの取り組みと今後の方向性は？

政策室長 国の第三次男女共同参画基本計画で示されているように、人権尊重の観点から配慮が必要だとの認識のもと、人権擁護相談などで対応している。相談窓口のPRに一層努めていく。

委員会での質問 子ども文教委員会

石坂 若宮小学校に特別支援学級ができるが(障がい児・健全児を問わず)対応するすべての教員のスキルアップも図られるのかどうか。学校教育担当 同じ学校内に特別支援学級が開設されるということ、情緒障がい等の指導方法などについてスキルアップは、共通で図っていただけるものと思われる。

地域支えあい推進 特別委員会

石坂 地域支えあいネットワークについて高齢者・様々な障がい者・子どもの虐待に対応する人のスキルの向上を図ったり、専門的な知見からの助言を受けたり、コーディネート的なものができる人材の確保等はどうか考えているか？

地域活動推進担当 私たちが町会・自治会に期待しているところは日常的な周りからの見守りが基礎。必要なスキルや方法論といったものについてはすこやか福祉センターが中心となって先進事例の勉強会や学習会を行っていききたい。コーディネートは、区民活動センターに配置するすこやか福祉センターの職員が行う。



初めての定例議会を終えて

第2回定例議会では東日本大震災に関することが、多数取り上げられました。

現在、区内にも東北方面から多数の方が避難をされていて、生活を始めています。地震から時間が経って新たに発生する必要な支援もあります。

一時的な対応ではない継続的な支援をしっかりと考えることが必要だと感じています。